

(参考 1) 消費者庁への届出項目 (主要項目) (イメージ)

項目		サプリメント 形状の 加工食品	その他 加工食品	生鮮食品
事業者に関する 基本情報	事業者名	○	○	○
	消費者対応部局(お客様相談室 等)の連絡先(電話番号等)	○	○	○
製品に関する基本情報	製品名	○	○	○
	機能性関与成分名	○	○	○
	1日摂取目安量	○	○	○
	1日摂取目安量当たりの機能性 関与成分の含有量	○	○	○
	摂取の方法 ^{※1}	○	○	○
	栄養成分の量及び熱量	○	○	○
	製品ラベルの画像	○	○	○
対象となる食品及び成 分の考え方並びに摂取 量の在り方	摂取上の注意(医薬品等との飲 み合わせ、過剰摂取を防止する ための注意喚起等)	○	○	○
	機能性関与成分及び安全性に 関わる成分の量に関する規格	○	○	○
	食経験に関する情報 ^{※2}	○	○	○
	(食経験に関する情報では安全 性を十分に説明できない場合) 安全性試験に関する情報 ^{※2}	○	○	○
	機能性関与成分と医薬品との相 互作用の有無 ^{※2}	○	○	○
	(機能性関与成分を複数含む場 合)成分同士の相互作用の有無 ^{※2}	○	○	○

項目		サプリメント 形状の 加工食品	その他 加工食品	生鮮食品
生産・製造及び品質の 管理	機能性関与成分及び安全性に 関わる成分の量に関する規格 (分析法、規格値、限度値等) ^{※3、4}	○	○	○
	HACCP、ISO 22000、FSSC 22000、GMP等の取組状況	○ (GMP)	○	—
	施設や作業員の衛生管理体制 ^{※4}	○	○	○
	異物混入や他製品との混同の 防止体制 ^{※4}	○	○	○
	製品の均質性とその管理体制 (生鮮食品については、産地、品 種、収穫時期等) ^{※4}	○	○	○
	規格外製品の出荷防止体制 ^{※4}	○	○	○
	製造・品質等の記録文書やサン プルの保管体制 ^{※4}	○	○	○
	原料の基原の保証試験の方法 及び製品の崩壊性試験の結果 並びに当該試験の頻度 ^{※4}	○	△ (該当食品 のみ適用)	—
	製品分析の結果 ^{※4}	○	○	○
健康被害等の情報収集 体制	健康被害等の情報収集体制	○	○	○
機能性に関する情報	機能性表示の内容	○	○	○
	機能性の根拠情報(臨床試験又 は研究レビューの内容) ^{※5}	○	○	○
	(該当する場合のみ)最終製品 による臨床試験は行われていな い等、対応されていない事項に 関する情報 ^{※5}	○	○	○

※1 機能性の根拠情報を取得した撮取の方法(例:生鮮食品については調理法等)を記載する。

※2 情報収集、評価の方法(どのデータベースをどのような検索式で調べたか等)についても詳述する。

※3 事業者は保存劣化も考慮して、必ず最終製品での分析方法を確立し、実施することとする。

※4 食品形状の特性に応じた項目とする。

※5 詳細版と併せて、一般消費者にも理解・活用しやすい形式も届け出る。

(参考2) 容器包装への表示による情報開示(主要項目)(イメージ)

項目		サプリメント 形状の 加工食品	その他 加工食品	生鮮食品
事業者に関する 基本情報	事業者名	○	○	○
	消費者対応部局(お客様相談 室等)の連絡先(電話番号等)	○	○	○
製品に関する基本情報	製品名	○	○	○
	届出受理番号	○	○	○
	機能性関与成分名	○	○	○
	1日摂取目安量	○	○	○
	1日摂取目安量当たりの機能 性関与成分の含有量	○	○	○
	摂取の方法※1	○	○	○
	栄養成分の量及び熱量	○	○	○
安全性	摂取上の注意(医薬品等との 飲み合わせ、過剰摂取を防止 するための注意喚起等)	○	○	○
	疾病の診断、治療、予防を目的 としたものではない旨	○	○	○
	医薬品を服用している者は医師、 薬剤師に相談した上で摂取すべき旨	○	○	○
	体調に異常を感じた際は速やかに 摂取を中止し医師に相談すべき旨	○	○	○
機能性	機能性表示の内容	○	○	○
その他	機能性及び安全性について、 国による評価を受けたものではない旨	○	○	○
	疾病に既に罹患している人、未 成年者、妊産婦(妊娠計画中 の者を含む。)及び授乳婦を対象 としたものではない旨	○	○	—
	バランスのとれた食生活の普及 啓発を図る文言	○	○	○

※1 機能性の根拠情報を取得した摂取の方法(例:生鮮食品については調理法等)を記載する。